



県ベスト4!! 藤中野球部

9月2日に開幕した秋季関東地区高校野球大会県予選。1回戦は高崎工業高校に3-1で勝利。2回戦は桐生西高校に6-1で勝利。3回戦はシード校沼田高校に5-3で勝利。準々決勝では、今夏県代表となり、県大会通算33連勝中の前橋育英高校に延長戦の末、2-1で勝利しました。残念ながら準決勝で関東学園附属高校に4-5で敗れましたが、藤岡中央初のベスト4は立派でした。

主将の下田匡希くん（藤岡北中出身）は、「初めて大会でこれだけの試合数を戦い、勝ちを得られ、いい経験になりました。今回の大会で自分たちの課題がよく見えたので、これからの練習でしっかりと克服し、甲子園出場を目指して頑張っていきたいです。」と今後への意気込みを語ってくれました。また、今回の大会で力投を見せてくれた門馬亮くん（藤岡北中出身）は「初めてベスト4という結果を残せて嬉しいです。ただ、みんなこの結果には満足していません。もっと上を狙えるということがわかったので、次の大会に向けて頑張りたいです。」と力強く語ってくれました。古平一貴監督は、「ここまでの5試合を通して選手は練習や日常生活で行ってきたことを大会で発揮してくれました。決して技術のみが際立ったわけではありません。我慢するところをチームで我慢できたことは、隙を出さずに1日1秒を大切にしてきた賜物だと思います。」



準々決勝で好投する門馬くん
「上毛新聞ニュース」2017年9月30日 より

準決勝では4-0と出来過ぎた展開の中で気が緩んだという表現が正しいと思います。そこで勝ちきれなかったのがチームの主たる課題になり、それを糧に冬を乗り越えます。新チーム発足後3か月分の努力を選手はよく体現してくれました。しかし、ここに満足することなく、冬を越えて目標である関東大会出場を実現すべく、またここから頑張ります。多くの方々への応援が本当に力になりました。この場を借りてお礼申し上げます。本当に有難うございました。」と語ってくれました。

チーム一丸となって新たなスタートを切る藤中野球部にますます期待が高まります。



今回の大会で大きく成長した選手たち

理数科 放射線について学ぶ！ ～県民健康科学大 出前授業～

9月27日（水）に理数科2、3年生を対象とした大学出前授業がおこなわれました。群馬県立県民健康科学大学の原孝光教授を講師に迎え、放射線について講義や実験を通して学びました。

生徒たちは、放射線がどのようなもので、私たちの生活にどのように利用されているのか知り、実験で放射線の飛んだ跡を観察しました。放射線が自然界のあらゆる場所に存在し、簡単な実験装置で飛跡を観察できることに驚いた様子でした。講義を受けた2年生の飯島野乃花さん（小野中出身）は「放射線についての講義は、高校の授業で習ったことも含まれていて、わかりやすい内容で楽しかったです。放射線の通った跡を見ることができ、実際に放射線の動きを見ることができて、とても勉強になりました。」と語ってくれました。また、3年生の大山直美さん（箱田中出身）は「今回の講義で放射線のことをより理解することができました。実際に実験で自分の目で放射線の飛跡を見ることができ、良い経験になりました。私は放射線学科に進学しようと思っているので、この講義で学んだことを生かしていきたいと思います。」と感想を述べてくれました。



放射線の飛跡を観察する生徒たち

高校生キャリアセミナー実施 ～様々な職業への理解深める～

9月26日（火）に1年生を対象としたキャリアセミナーを実施しました。保育士や消防士、美容師など様々な職種の講師を招き、仕事の内容ややりがいについて話をさせていただきました。

参加した高橋あゆなさん（藤岡西中出身）は「どの職業も日々誰かのために一生懸命働いていて、やりがいを感じられるものだと思います。もっと自分の視野を広げて、将来の職業を決められるよう高校生活を頑張ります。」と感想を述べてくれました。参加した生徒たちにとって、自分の進路や仕事について深く考える良い機会となりました。



部活動報告

9月23日、24日に正田醤油スタジアムで県高等学校新人陸上競技大会が開催されました。陸上部の今井彩月さん（鬼石中出身）が女子1500mで第2位、女子3000mにおいても第2位、清水美歩さん（藤岡東中出身）が女子ハンマー投げで第2位、美細津佳菜さん（小野中出身）が女子ハンマー投げで3位に入賞しました。3人は10月21日、22日に東京で開催される関東大会に出場します。